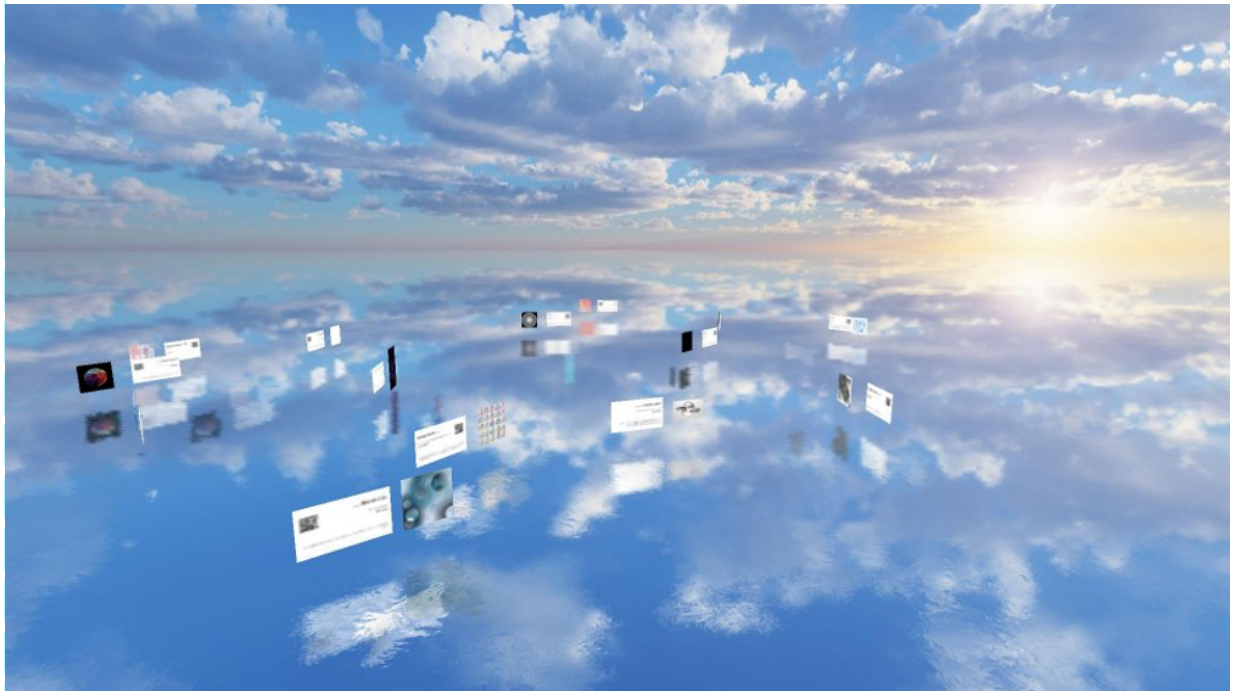


STYLY



今回の作品展では、自分の中で「会場製作にコストを掛けない」という目標立てていました。

開発期間が短いこと、オンライン作品展の開催のノウハウが無かったので半ば試験的なものだったこと、作品の方に時間をかけたかったこと、が主な理由ですね。

このSTYLYというプラットフォームは、オブジェクトを置いて公開するだけでアクセスできるようになり、ユーザーが自由に見て回れるという点がとても良く、製作にあまりコストを掛けず公開できました。しかもこれ、HMDさえあればVRでも見れるらしいです。

標準搭載されているオブジェクトで綺麗な空間を演出、動画作品をYoutubeから引っ張ってくるとするのは、大変でしたが楽しく作業できましたね。

次の機会にはSTYLYのポテンシャルを活かした会場製作をしてみたいと考えています。

自分の作った会場にHMDで入るということをやりたいなあと思いつつ、この辺で筆を置こうと思います。